

Governor's Monthly Letter

12
2014

国際ロータリー第2560地区 2014-2015年度「ガバナー月信」

Rotary  2014-2015
Rotary International District 2560

委員会・イベント報告

地区奨学生オリエンテーション報告
青少年一年交換派遣選考会
新潟南ロータリークラブ 55周年式典報告
佐々木年度地区大会報告

中村 隆輔 (新発田城南 RC)
横山 亘 (高田東 RC)
森田 順一 (新潟南 RC)
星野 徹也 (小千谷 RC)

クラブ紹介

第4分区クラブ紹介 分水ロータリークラブ

佐々木昌敏ガバナーメッセージ

小さなことが大きな成果へ

ロータリー文庫通信

ハイライト米山

新入会員報告



国際ロータリー第2560地区
ガバナー 佐々木 昌敏

目次

1. 目次
2. ガバナーメッセージ 佐々木昌敏
3. 地区奨学生オリエンテーション報告 ロータリー財団 奨学金委員長 中村 隆輔(新発田城南 RC)
4. 青少年一年交換派遣選考会 青少年委員会 委員長 横山 亘(高田東 RC)
5. 新潟南ロータリークラブ 55 周年式典報告 クラブ会長 森田 順一(新潟南 RC)
6. 佐々木年度地区大会報告 1 地区大会実行委員会 委員長 星野 徹也(小千谷 RC)
7. 佐々木年度地区大会報告 2
8. 第4分区クラブ紹介 分水ロータリークラブ 小川 政美 (分水 RC)
9. 新会員紹介
10. 文庫通信 327号
11. ハイライト米山 176-1
12. 176-2
13. 2013-2014年度 10月末会員数および出席報告

* PDF版では目次の各記事名をクリックする事で
該当のページへ直接移動します。
また各ページ下部の[目次へ](#)をクリックする事で
このページまで戻る事が出来ます。



小さなことが大きな成果へ

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度
ガバナー 佐々木 昌敏

みなさん お元気でいらっしゃいますか。

10月の地区大会には大勢の方々においでいただきましてほんとうにありがとうございました。心より御礼申しあげます。

ある社長さんが入院されました。高校野球甲子園大会の最中でした。知っている高校がベスト8に進んだので、驚くとともに感心しました。“そうだ祝ってあげよう”と思って、“A大学付属高校がベスト8に進んだ。たいしたものだ。いまずぐ〇〇万円をもってお祝いに行ってきたほしい”と営業部長に指示しました。その日また勝って、ベスト8からベスト4に勝ちのこりました。営業部長にさらに指示しました。



“前回の御祝の倍額をお祝いとして届けてきてほしい” 営業部長はどうしてこんなことをするのだろうと思いつつも、社長命令だから仕方がないと思って学校に届けました。お祝いされた学校も、なぜこのお祝いを、しかも大枚のお祝いを聞いたこともない会社から貰うのだろうか、と、びっくりしながらも半信半疑でありました。

その1カ月後、社長は営業部長に指示しました。“ベスト4進出まことにおめでとうございます。お祝いの食事会でもいかがでしょうかと大学の理事長にすすめてみてくれないか、ダメモトじゃないか、頼むよ” 営業部長は学校の理事長に丁寧に説明したうえ、納得してもらい、食事会は成立し立派な親睦会となりました。社長さんと理事長さんは、あっという間に親しくなりました。

薬局の社長さんと、医療系大学の理事長さんのことであり、この薬局はこの大学の卒業生（とくに薬剤師）を次から次へと採用いたしました。

さらに理事長さんは、学生に医療の現場を体験させながら教育の現場を拓いていこうと考え、大学の近くに診療所を併設することにいたしました。その診療所の近くには薬局ができました。大学の構想、希望は現実のものとなり、薬局もまた、学生と親しくなる機会を得て事業をさらに展開できるようになりました。

われわれの周辺には無数の情報があります。目、鼻、耳などの五感を働かせることによって、効果的な事業の展開が肝要と思われれます。新会員のおすすめについても同じことがいえると思います。ご活躍を心から祈念申しあげます。

ロータリー財団地区奨学生候補のオリエンテーション報告

国際ロータリー第 2560 地区ロータリー財団奨学金委員長

中村 隆輔（新発田城南 RC）

去る10月11日に新潟市の万代シルバーホテルにて、国際ロータリー第2560地区2015-16年度地区奨学生候補のオリエンテーションが行われました。地区奨学生候補はオリエンテーションへの出席が責務となっており必ず出席をし、留学等に当たっての説明事項を確認・了承していただく大事な会議となっております。

今回は10月11日に開催された2015-16年度地区奨学生候補のオリエンテーションの様子を報告させていただきます。

当日は、佐々木ガバナー、渡辺財団委員長、山本ガバナーエレクトを初めとして財団の奨学金委員会、資金管理委員長、学友会委員、2015-16年度奨学生候補の山村耀さん、スポンサークラブであります長岡ロータリークラブの加藤幹事、それに2013-14年度地区奨学生の小林瑠璃さんの11名の方が出席されました。

冒頭佐々木ガバナー、渡辺財団委員長の激励の挨拶の後司会者からの出席者の紹介、奨学生候補の山村耀さんの挨拶に引き続きまして、オリエンテーションが始まりました。会議は質疑等を交えての形式で進められ、奨学金委員会からは奨学生の義務・資格要件・今後のスケジュールの確認、地区、クラブに対する毎月の報告等々の説明がありました。

学友会からは奨学生は「親善大使」であるとの自覚のもと、ロータリークラブについての勉強、留学先での交流の仕方等々出発前の財団奨学生候補としての心得の説明がありました。

続いて、2013-14年度地区奨学生でオーストラリアへ留学され本年9月に帰国された小林瑠璃さんから奨学生の体験談ということで、修学中の様子やロータリアンとの交流について映像を交えての説明があり、これから留学する山村さんにとっては大変有意義な体験談ではなかったかと思いました。

会議は、長岡クラブの加藤幹事、山本ガバナーエレクトよりの激励の挨拶後同意書へ署名をし、閉会いたしました。

最後に、山村さんの留学が成功裏に終了することを祈念いたしまして報告とさせていただきます。



1 年交換派遣学生選考会

国際ロータリー第 2560 地区青少年交換委員会委員長
横山 亘（高田東RC）

地区青少年交換委員会では、去る11月22日に ANA クラウンプラザ新潟において、2015-2016年度、青少年1年交換派遣学生選考会を開催いたしました。

来年度の派遣予定は4名でしたが、締切期限でのクラブからのご推薦が1名ということで、少し寂しい気もしましたが、佐々木ガバナーをはじめ、山本エレクト、委員会メンバー多数の参加のもとに厳正に選考会を行ないました。選考方法は、第1部は英語と一般社会の筆記試験、第2部は参加者全員での面接試験という2部構成になっており、面接では多くのロータリアンと対する学生1名ですので、さぞかし緊張したのではないのでしょうか。

あらかじめ派遣候補の学生には「将来の夢」という題目で作文の提出課題を与えておりましたが、その作文の内容は大変素晴らしく「将来起業し地域の活性化や発展に努めたい、そして今後の同じような留学生の一助に携わりたい」と書いてあり、はっきりとした目的意識を持っていると感じました。面接官のメンバーはその作文を読み終えたあと、各々学生に伺っていましたが、実はロータリアンも、このように学生と関わることにより、気づき学ぶものもたくさんあるのだと、いつも感じておりました。佐々木ガバナーは「何を目的に、また目標にして応募されたのか」または「日本を他国にどのように伝えたいのか」という質問や、山本エレクトは「1年交換に興味を持った動機は何ですか、また自分の夢の実現には何が必要ですか」という厳しい質問にも動じず、堂々と自分の意見を答える学生に、はっきり感動すら覚えました。面接は予定時間を過ぎる程の内容ではございましたが、派遣の目的やその意義についての強い意思をお互いに理解する事が出来たと思っております。

最後に、派遣する学生の実のある留學生活と今後の成長のために青少年交換委員会は、全力で学生をサポートし尽力してまいります。今後とも各クラブの皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



新潟南ロータリークラブ 55周年記念式典報告書

国際ロータリー第 2560 地区新潟南ロータリークラブ 会長
森田 順一（新潟南 RC）

平成26年11月9日において、新潟南ロータリークラブは55周年に成り、60周年への通過点ではありますが、これを期にロータリーの原点を見直し、より一層の会員のロータリーへの理解と会員増強を促進し一層の発展を目指すことを目的として55周年事業を開催いたしました。特にこの度は、この素晴らしい新潟南ロータリークラブを55年の長き年月に渡り、色々な先人たちの努力で新潟南クラブならではの独特な雰囲気を作って頂いたお蔭で、現在93名という大きなクラブに成ったと思います。

特に先人諸先輩達は、ロータリー精神を大切に、友を大切に、若き後輩たちを大切に、そして約束を大切に、人の出会いを大切に作るロータリアンとして人間として、最も大切にしなければ成らない事を無言のルールで新潟南ロータリークラブを作って下さった事が、55周年記念に繋がったような気が致します。その素晴らしい先人の諸先輩たちを思い出す為に、沢山の写真を集め画像にして披露し、新潟南ロータリークラブの足跡を思い出し、感謝した記念式典を開催いたしました。

ご協力頂きました方々に、まず持って感謝申し上げます。

最後に、この様な記念すべき時に私のような者が会長に拝命頂きましたことは、一生の誇りと思っております。新潟南ロータリークラブのメンバーの皆様に、まずもって感謝申し上げ、残りの任期を頑張っていきたいと思っております。



地区大会「錦鯉の里」小千谷市で開催

国際ロータリー第 2560 地区地区大会実行委員長
星野 徹也（小千谷 RC）

2014-2015 年度地区大会を去る 10 月 25、26 日、RI 会長代理田中作次様を迎え、小千谷市のサンプラザと総合体育館の二会場で総勢 1,000 名近い会員参加のもと開催されました。

初日の 25 日はサンプラザ会場で 13 時よりガバナー補佐、地区委員長、会長・幹事会議が開催され、地区委員長報告の後、ロータリー地域協働 NW センター長鈴木重吉様によるセミナー「ロータリーの発展は地域との絆にあり」で、地域との絆をより強くする目的にて去る 10 月 12 日開催された「第 2560 地区ロータリーデー」は大変有意義であったと述べられました。閉会後は希望する方々に当会場隣接の「錦鯉の里」で小千谷市が誇る「泳ぐ宝石錦鯉」を鑑賞していただきました。

16 時 35 分より「国際ロータリー会長代理晩餐会」が開会され、ガバナーの歓迎挨拶の後、RI 会長代理田中作次様よりご挨拶をいただき、続いてのアトラクションで「小千谷ロータリー混声合唱クラブ」による合唱が始まり、会場もなごやかな雰囲気につつまれ晩餐会も大いに盛り上がりました。

二日目は総合体育館にて 9 時 30 分より RI 会長代理田中作次様の入場により本会議が始まりました。

RI 会長代理挨拶、RI 会長メッセージ、RI 現況報告のあと、地区大会決議委員会より大会決議案が提出され、佐々木ガバナーにより決議案が採択されて、午前中のプログラムは終了しました。

午後はロータリー家族の委員会活動報告があり、最後に RI 会長代理より大会講評をいただき本会議を終了しました。

15 時より記念講演として、水谷修先生による「あした、笑顔になあれ---夜回り先生いのちの授業」を 100 人を超す一般市民と共に聴講、先生の実体験指導にもとずくお話に感動をよびました。



17 時よりのレセプション（ロータリーのタベ）は“三味線パフォーマンス”によるにぎやかな唄と演奏で開宴、地区大会記念ゴルフ大会表彰式もあり、大いに盛り上がりました。最後に「手に手つないで」の斉唱と共に楽しい懇親会も無事終了しました。何よりも RI 元会長田中作次様ご臨席の栄を賜ることができたことが、大会成功の大ヒットとなりました。

当小千谷市にはこれ程多くの方々が一堂に会するシティホテルも建築物もなく、ご参加の方々には、何かとご不便をおかけしました事を申し上げ、地区大会報告とします。



第4分区クラブ紹介 『友好クラブ親睦交流会』

分水ロータリークラブ 小川 政美

当クラブは、三条 RC をスポンサークラブとして発足し、1974 年 4 月 8 日に RI 加盟認証を受け発足しました。前年度創立 40 周年を迎え、5 月 10 日に創立 40 周年記念式典を行いました。県内各クラブより多数の出席をいただき、記念講演は第 2600 地区伊那中央 RC 現会長の小川秋實 伊那中央病院名誉院長から、「長野県の長寿について」講演をしていただき、出席者の皆様から絶大な褒めめ言葉の言葉をいただきまして、盛大に行いました。

伊那中央ロータリークラブとは、33 代会長（2006～2007 年度）氏田公基会員が、「近県で桜が有名な地域のロータリークラブと友好クラブを結びたい」と探していたところ、2006～2007 年度ガバナー中條耕二氏の紹介で、高遠のさくら（高遠城址公園のタカトウコヒガンサクラ）で有名な第 2600 地区（長野県）伊那中央ロータリークラブと 2008 年 4 月 12 日に締結調印式を行い、締結以降、毎年交互に幹事を設けて交流を深めています。

交流内容を少し紹介しますと、高遠桜まつりの観桜会、分水おいらん道中見学、親睦旅行等々です。今年度は、当クラブが幹事の年で、10 月 13 日にマレットゴルフで交流をする入念な計画を立てており、当クラブ参加者は、やったことの無いスポーツということで楽しみにしていましたが、あいにく台風 19 号の影響が予測されたので、急きょボウリング大会に変更して交流会にすることになりました。

マレットゴルフについてですが、新潟県ではマレットゴルフ場は魚沼市と妙高市の計 2ヶ所しかなく、県内では聞いたこともやったこともない方が多いマイナーなスポーツだと思います。マレットゴルフは福井県で誕生し長野県で成熟した、長野県では老若男女問わず大勢のプレーヤーがいるメジャーなスポーツのようです。

交流会についてですが、ボウリング大会参加者の中には、ボウリングは昔取った杵柄の世代が多かったのか、ゲームを重ねるほどにハイスコアが出る方や、体力の衰えのせいか段々悪くなる方がいたり様々でしたが、和気あいあい交流を楽しみ、懇親会では二次会まで行って酒を酌み交わし、夜遅くまで親睦を深めて帰って来ました。



新入会員報告

クラブ名：豊栄ロータリークラブ

氏名：大滝 徹

職業分類：食品卸

スポンサー氏名：

クラブ名：吉田ロータリークラブ

氏名：深滝 晴生

職業分類：印刷業

スポンサー氏名：渡辺 芳雄

クラブ名：糸魚川中央ロータリークラブ

氏名：猪又 行雄

職業分類：建築材料配布

スポンサー氏名：藤田 重幸

クラブ名：高田ロータリークラブ

氏名：青木 克明

職業分類：農協

スポンサー氏名：佐藤 憲二

クラブ名：新潟北ロータリークラブ

氏名：藤木 隆司

職業分類：保険業

スポンサー氏名：

クラブ名：新津中央ロータリークラブ

氏名：井浦 行重

職業分類：不動産業

スポンサー氏名：小川 信正



文 庫 通 信 (327号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より(3)

- ◎「ロータリー感想」 佐藤昌介 1933 2p (札幌ロータリアン第一号)
- ◎「ガバナース、マンスリ、レター」 井坂 孝 D.70 1933 9p (第八号)
- ◎「何故にロータリーを疑ふ」 村田省蔵 D.70 1933 3p (ガバナー月報第六信)
- ◎「伊達にはつけぬ襟のバッチ」 村田省蔵 D.70 1934 1p (ガバナー月報第七信)
- ◎「米山長老の大演説」 米山梅吉 D.70 1937 3p (ロータリー月報第四報)
- ◎「戦争と宣伝」 米山梅吉 D.70 1937 5p (国際ロータリー月報十一月号)
- ◎「僕はロータリーをやめぬ」 D.70 1937 1p (国際ロータリー月報十一月号)
- ◎「村田元ガバナーに『非常時ロータリアンの覚悟』を聞く」 一記者 D.70 1937 4p (国際ロータリー月報十二月号)
- ◎「ロータリー倶楽部を善用せよ」 廣田弘毅 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- ◎「ロータリーとは何ぞや-某大官に対してロータリーを説明す」 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- ◎「ロータリー精神の積極的発揚」 里見純吉 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報五月号)
- ◎「日満ロータリー解散文書」 米山梅吉 1940 3p (郡山R.C.三十五年史)
[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
 TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日

<ロータリー文庫よりお願い>

書籍入手のお問い合わせ、コピーサービスお申し込みは、ロータリー会員のみに限ります。

コピーサービスの申込は、ホームページまたはFAXでお願いします。

FAX 番号：03(3459)7506

なお、お申し込みの際は書名・著者名の他に分類番号を御記入ください。

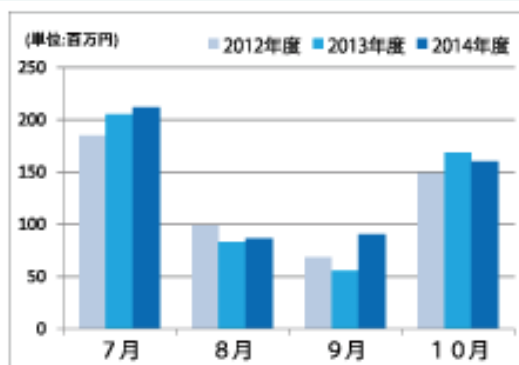


ハイライトよねやま 176

2014 年 11 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝いたします! —

10 月までの寄付金累計は前年同期と比べ 7.1%増、約 3,650 万円の増加となりました。10 月単月の寄付金、約 1 億 6,000 万円は昨年度実績には届かなかったものの、直近 7 年間で 2 番目に高額となり、今年度は好調を維持しています。米山学友を含め、多くのロータリアンの方々からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り 2 カ月を切りましたが、今後も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



2015 学年度奨学金申し込み状況

2015 学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程/地区奨励)には、指定校 533 校(前年度 531 校)から 1,315 人(同 1,296 人)が推薦されました。被推薦者の国籍・地域別にみると、中国が 56.9% (同 59.5%)、韓国 13.9% (同 13.6%)、台湾 2.6% (同 4.3%)、その他が 26.6% (同 22.6%) となっています。前年に引き続き中国の割合が減少し、その他の国籍が増加しました。その他の国籍で多かったのは、ベトナム、マレーシア、インドネシアなどです。

奨学金別では、博士課程が 21.0% (同 19.5%)、修士課程 40.1% (同 38.6%)、学部課程 34.5% (同 32.9%)、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8 地区 12 校から計 20 人の応募が、また、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には 7 地区 9 クラブから、そして、試行 4 年目となる「海外応募者対象奨学金(個人応募)」には、32 件の応募(採用枠は 14 地区、各地区で最大 3 人)がありました。

11 月中旬から、各地区へ応募書類を発送し、1 月下旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2 月中旬には新規採用者 543 人(2014 年 11 月現在)が決定します。

秋の叙勲 — ミャンマーの学友が旭日小綬章を受章 —

11 月 3 日、平成 26 年秋の叙勲者が発表され、米山学友で元ミャンマー元日本留学生協会会長のアウン・チョウさん(1962-66/東京北 RC・東京南 RC)が、旭日小綬章を受章されました。



アウン・チョウさん(右)ご夫妻

アウン・チョウさんは 1966 年に東京大学で医学博士号を取得し、帰国後はミャンマーで 2 人目の脳神経外科医として長年活躍されました。退職後は、Myanmar Academy of Medical Science の事務総長に就任したほか、日本政府の国費留学生の面接官やミャンマー元日本留学生協会会長など、日本留学にかかわる要職を歴任。2007 年訪日時には、留学中の 4 年間に支えた米山記念奨学金への感謝を、世話クラブの思い出とともに伝えてくださいました。栄えある受章、おめでとうございます!

米山奨学生が市長表敬訪問、高校生と交流【第 2640 地区】

第 2640 地区（大阪府・和歌山県）米山奨学生が 10 月 14～15 日、同地区米山奨学委員会が企画した研修旅行に参加し、和歌山県田辺市長の表敬訪問や県内高校生との交流を行いました。

台風上陸の影響により、研修旅行は当初の予定から半日遅れでスタート。14 日は田辺市役所で真砂市長と懇談し、奨学生はそれぞれの専攻を生かして地域活性化に向けた提案をしたり、市長から市の紹介を受けたりしました。同日夜には、田辺東・田辺はまゆう両ロータリークラブによる歓迎を受け、ロータリアンとの交流や獅子舞の披露を楽しみました。

翌 15 日は、世界遺産の熊野古道、荘厳な雰囲気漂う熊野本宮大社を見学。続いて和歌山県立熊野高等学校を訪れ、同校の「KUMANO サポーターズリーダー」の生徒 48 人と生徒会役員 4 人との交流がスタートしました。グループディスカッションで母国の紹介や日本の印象について語り合った後、高校生と共にダンスを楽しみ、最後は、サプライズ演出で高校生たちが手をかざして作ったトンネルの中を奨学生が笑顔でくぐり、固く手を握りながら別れを惜しむ姿があちこちに見られました。参加した奨学生の王竹さん（中国／大阪千代田 R C）は「日本の部活動に初めて触れ、みんなの仲間を思う気持ち、全身全霊で踊る姿に、たくさんのパワーをいただいた」と、振り返りました。



故郷の発展に尽くした米山学友 — 数万人の市民が追悼 —

中国甘肅省定西市臨洮県の県長（日本では市長に相当）を務めていた米山学友、柴生芳さん（2001-02／神戸中 R C）が 8 月 15 日、45 歳の若さで亡くなりました。柴さんは神戸大学大学院を卒業後、貧しい故郷のために働きたいと故郷に戻り、留学経験のある数少ない官吏として活躍。県長就任後は執務室のドアを開放し、市民の声を最優先する指導者として慕われていましたが、過労もあってか、同日朝に亡くなりました。葬儀の日には数万人の市民が沿道に出て、故人を乗せた車を見送りました。留学時代から親交のあった学友の宋小華さん（2000-02／神戸ハーバー R C）が中国米山学友会上海分会と中国神戸大学同窓会を代表して、夫人と幼子のために香典を届け、哀悼の意を表しました。



奨学生時代の故・柴さん(左)と永井幸寿 カウンセラー

柴さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月末まで

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー、「寄付金について」→ 普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。特別寄付金については来年 1 月下旬にクラブ経由で送付しますので申請不要です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

10月末会員数および出席報告

第2560地区 2014-15年度 10月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	86.42	352	358	37	6
新発田	2	98.88	89	91	0	2
村上	4	88.28	33	34	7	1
水原	5	73.40	24	24	1	0
中条	4	90.14	34	34	3	0
新発田城南	4	90.24	43	44	7	1
豊栄	4	79.80	26	27	3	1
新発田中央	5	87.60	50	50	5	0
中条胎内	4	75.85	27	28	5	1
村上岩船	3	93.59	26	26	6	0
第2分區(9クラブ)	／	88.65	423	447	18	24
新潟	4	83.96	92	98	0	6
新潟東	5	91.55	55	60	6	5
新潟南	5	89.97	90	93	0	3
佐渡	5	88.00	10	10	0	0
新潟西	5	85.94	32	38	2	6
佐渡南	4	99.39	42	43	4	1
新潟北	3	88.24	40	43	0	3
新潟中央	4	92.71	24	24	0	0
新潟万代	3	78.07	38	38	6	0
第3分區(6クラブ)	／	80.75	131	132	9	1
新津	4	71.75	22	23	1	1
村松	4	78.00	9	10	0	1
五泉	4	88.00	20	19	3	-1
白根	5	78.63	43	44	3	1
新津中央	4	82.42	28	27	1	-1
阿賀野川ライン	3	85.70	9	9	1	0
第4分區(11クラブ)	／	82.07	363	371	22	8
三条	4	84.70	54	54	0	0
燕	4	66.66	29	30	1	1
加茂	5	87.74	29	32	6	3
三条南	3	91.21	51	52	1	1
分水	4	87.10	31	32	2	1
見附	5	71.00	20	19	1	-1
吉田	5	87.80	32	33	1	1
三条北	4	85.29	67	68	3	1
巻	4	90.00	10	10	0	0
田上あじさい	4	67.90	7	7	1	0
三条東	4	83.33	33	34	6	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	88.30	299	314	31	15
長岡	4	84.55	42	44	3	2
柏崎	5	94.21	45	50	0	5
長岡東	4	88.60	63	63	7	0
柏崎東	3	96.67	45	51	5	6
栃尾	4	83.53	22	22	0	0
長岡西	4	85.25	43	44	5	1
柏崎中央	4	85.27	39	40	11	1
第6分區(6クラブ)	／	89.36	154	158	7	4
十日町	5	100.00	33	33	1	0
小千谷	3	96.92	42	45	3	3
雪国魚沼	4	80.00	23	23	1	0
十日町北	4	94.56	22	23	1	1
津南	2	91.67	24	24	1	0
越後魚沼	4	73.00	10	10	0	0
第7分區(9クラブ)	／	84.26	306	315	26	9
高田	5	97.89	53	60	0	7
直江津	4	78.09	49	49	2	0
新井	5	80.36	29	33	3	4
糸魚川	5	85.19	39	41	3	2
高田東	3	71.80	37	36	3	-1
糸魚川中央	4	75.78	33	34	0	1
頸北	4	92.90	15	14	1	-1
越後春日山	6	92.05	51	48	14	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,028	人
10月末 会員数	2,095	人
女性会員数	150	人
純増減会員数	67	人
当月平均出席率	85.56	%